



2026
05
No.802

いつでも変化に対応できる力を培う

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

漁業用燃油等の安定的な確保を
求める緊急漁業代表者会議

ALPS処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越える
ための漁業者支援事業 実務者説明会

浜の活力再生プラン 優良事例
児湯地区地域水産業再生委員会が受賞

2026年3月末漁業生産統計(属人)

2026年3月漁業生産統計(属人)

2026年3月末の対前年比較属人水揚げ表

MERGER PROPULATION

組織経営

県一漁協合併に係る
組合長会議の開催

BUSINESS

業務情報

旬のさかな

軽油・灯油運搬容器のご紹介

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

2026年度JFグループ新人職員研修会、
役員候補者推薦委員選出協議会

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

環境DNAを用いたビンナガ
来遊予測技術の実践

—経営流通部—

RELATED ORGANIZATION

関係機関

4月の動き(漁連関係)



水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。



緊急漁業代表者会議



県一漁協合併に係る組合長会議

漁業用燃油等の安定的な確保を求める 緊急漁業代表者会議

4月8日（水）、全漁連主催による「漁業用燃油等の安定的な確保を求める緊急漁業代表者会議」が東京都千代田区の都道府県会館で開催され、全国の漁連および県漁協の代表者が参加し、本会からも是澤喜幸代表理事会長が出席した。

本集会にあたっては、今般のイラン情勢により、漁業用燃油価格が急激に上昇していることから、国による対策の継続・強化を求めるため開催されたものであり、冒頭、主催者である全漁連坂本会長挨拶のあと、来賓として、自民党の鈴木俊一議員、浜田靖一議員の挨拶があり、その後、水産庁の藤田長官による状況説明が行われた。

本集会の最後に、全漁連内田専務が「漁業用燃油等の安定的な確保を求める緊急決議（案）」を読み上げ、満場一致で採択された。



挨拶を行う全漁連の坂本会長

ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 実務者説明会

宮崎県漁連は4月14日（火）宮崎県水産会館4階第1研修室において、実務者説明会を開催した。説明会は（一社）漁業経営安定化推進協会がWEBにて全国を対象に説明をおこなった。

内容

第2期の実施状況報告（中間報告）、概算払、様式等の追加・変更点、その他



浜の活力再生プラン 優良事例

児湯地区地域水産業再生委員会が受賞

2026年3月11日、水産庁主催「浜の活力再生プラン全国推進会議」が開催され、2025年度の優良事例が紹介された。本県から「全国漁業協同組合連合会長賞」を受賞した児湯地区地域水産業再生委員会（代表：俵伸二 JF川南町組合長）が取り組んだ JF 都農町、JF 川南町の取組みが紹介された。

また、当日は優良事例表彰式が併せて行われ、全漁連会長より表彰状の授与を受けた。

児湯地区地域水産業再生委員会の取組みについて下記でご覧いただけます。

https://hama-p.jp/_wp/wp-content/uploads/2026/03/04dae7138518c8e3d1009be5babe14d3.pdf



2026年3月末漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			7,379 855,444		22 15,183		157 82,755	0 43	5 11,612	7,564 965,037
島浦町		102 113,507	149 15,657	9 5,493			72 40,730	133 152,620	2 1,395	466 329,401
延岡				2 868	5 2,196	33 10,670			1 10,658	41 24,393
延岡市	19 12,094			0 51	5 2,421	28 11,835	276 144,251	1 813	6 7,690	335 179,155
庵川	22 13,601	180 167,047		0 52	14 8,480	0 0	46 31,117	30 21,387	9 7,376	301 249,060
門川		26 26,655		1 603	9 3,613	19 7,788			8 12,857	63 51,516
日向市	96 62,653	964 938,660		1 322		2 5,551	199 83,490	6 8,041	6 13,585	1,275 1,112,302
都農町		115 97,024		2 1,691					5 4,813	123 103,528
川南町		806 811,788		31 23,018					26 25,505	863 860,311
一ツ瀬				1 1,181	3 1,019				8 7,537	12 9,737
檉浜				2 2,487					5 6,457	7 8,944
宮崎		125 111,533				62 16,337			16 18,044	203 145,913
宮崎市		33 35,505	771 81,272	8 6,965	169	8 1,375	73 46,990		5 4,707	898 176,982
日南市	247 150,729	475 342,755		20 15,910			36 26,021		29 28,221	807 563,636
南郷	734 362,591	309 151,656		18 16,989			410 169,816		20 24,106	1,491 725,159
外浦	218 95,448	76 42,296					61 37,439		1 1,214	356 176,396
串間市東		27 27,547		8 9,452			423 173,164		40 24,802	498 234,965
串間市				2 2,576	2 1,915	4 8,172	1 425	2,706 1,720,867	2 5,812	2,716 1,739,768
合計数量	1,336	3,238	8,299	103	59	156	1,755	2,876	195	18,017
〃 金額 （魚価）	697,116 522	2,865,972 885	952,373 115	87,659 849	34,997 589	61,728 397	836,197 477	1,903,771 662	216,391 1,107	7,656,204 425
前年数量	1,661	3,548	7,042	110	70	333	1,225	2,562	228	16,778
〃 金額 （魚価）	834,785 503	2,663,185 751	814,773 116	108,706 992	36,529 523	112,165 337	585,986 478	1,702,394 664	219,860 966	7,078,382 422
数量増減 〃 対比(%)	-325 -19.6	-310 -8.8	1,257 17.9	-6 -5.8	-10 -15.0	-178 -53.3	530 43.3	314 12.2	-32 -14.2	1,239 7.4
金額増減 〃 対比(%)	-137,669 -16.5	202,787 7.6	137,600 16.9	-21,047 -19.4	-1,532 -4.2	-50,437 -45.0	250,211 42.7	201,376 11.8	-3,469 -1.6	577,822 8.2
魚価増減 〃 対比(%)	19 3.8	135 17.9	-1 -0.8	-143 -14.4	66 12.7	60 17.9	-2 -0.4	-2 -0.4	141 14.6	3 0.7

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2026年3月漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき網	船びき網	定置	養殖	その他	合計
北浦			2,176 194,245		7 6,226		85 51,439	0 16	2 2,606	2,270 254,532
島浦町		47 52,287	23 1,805	3 1,323			35 22,293	46 47,647	1 361	154 125,716
延岡				2 569	2 887	2 691			0 1,200	6 3,347
延岡市	14 8,462			0 16	1 601		152 89,019	0 36	2 1,778	169 99,913
庵川	8 4,333	63 69,293		0 52	4 2,422		17 11,703	17 11,158	4 2,535	113 101,496
門川		11 9,947		0 106	3 1,330				3 2,019	17 13,402
日向市	54 35,290	348 349,941		0 65		0 4,277	63 27,256	2 2,862	1 1,832	470 421,523
都農町		32 30,762		1 508					0 269	33 31,540
川南町		312 320,693		16 9,379					4 4,586	332 334,658
一ツ瀬				1 480	1 430				3 2,181	5 3,091
憶浜				0 125					2 2,877	2 3,003
宮崎		37 28,943							7 10,194	44 39,137
宮崎市		9 8,433	322 34,119	3 1,401	0 118		40 29,029		1 1,998	374 75,099
日南市	201 121,649	130 103,239		12 9,983			12 10,967		8 8,943	363 254,781
南郷	573 276,305	118 62,463		7 5,358			188 94,384		8 9,601	893 448,111
外浦	179 77,421	22 23,157					28 17,095		0 150	229 117,823
串間市東		5 5,461		4 2,016			232 97,866		19 16,474	260 121,818
串間市				1 1,915	0 70	3 6,585	1 263	1,061 707,617	1 2,844	1,067 719,293
合計数量	1,029	1,132	2,521	49	20	5	852	1,127	65	6,800
" 金額 (魚価)	523,462 509	1,064,619 940	230,170 91	33,299 684	12,083 620	11,553 2,113	451,314 529	769,336 683	72,448 1,109	3,168,283 466
前年数量	671	902	3,967	33	19	65	360	643	62	6,723
" 金額 (魚価)	381,965 569	821,665 910	282,365 71	38,797 1,179	12,501 643	49,110 752	231,595 644	473,636 736	80,738 1,303	2,372,371 353
数量増減	358	230	-1,446	16	0	-60	493	483	3	77
" 対比(%)	53.3	25.5	-36.4	47.8	0.3	-91.6	137.1	75.2	5.4	1.2
金額増減	141,497	242,954	-52,195	-5,498	-417	-37,557	219,719	295,700	-8,290	795,912
" 対比(%)	37.0	29.6	-18.5	-14.2	-3.3	-76.5	94.9	62.4	-10.3	33.5
魚価増減	-60	30	20	-494	-23	1,362	-115	-54	-194	113
" 対比(%)	-10.6	3.3	28.3	-41.9	-3.6	181.2	-17.8	-7.3	-14.9	32.0

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2026年3月末の対前年比較属人水揚げ表

区分 漁協名	3月末累計			前年同月末との比較					
				昨年同月累計			増減		魚価 対比
	数量	金額	魚価	数量	金額	魚価	数量	金額	
	t	千円	円/kg	t	千円	円/kg	t	千円	%
北浦	7,564	965,037	128	8,339	873,427	105	-775	91,610	21.8
島浦町	466	329,401	707	573	314,920	550	-107	14,480	28.5
延岡	41	24,393	600	74	50,462	686	-33	-26,069	-12.6
延岡市	335	179,155	535	143	82,483	576	191	96,672	-7.1
庵川	301	249,060	829	221	178,170	805	79	70,890	2.9
門川	63	51,516	820	39	40,232	1,020	23	11,284	-19.6
日向市	1,275	1,112,302	872	954	934,118	979	321	178,185	-10.9
都農町	123	103,528	842	99	84,098	851	24	19,431	-1.0
川南町	863	860,311	997	674	716,212	1,063	189	144,099	-6.2
一ツ瀬	12	9,737	811	15	11,773	790	-3	-2,036	2.8
憶浜	7	8,944	1,261	5	5,613	1,106	2	3,330	14.0
宮崎	203	145,913	720	171	127,460	747	32	18,453	-3.6
宮崎市	898	176,982	197	309	90,380	293	589	86,602	-32.6
日南市	807	563,636	698	579	507,082	875	228	56,554	-20.2
南郷	1,491	725,159	486	1,057	600,053	567	434	125,106	-14.3
外浦	356	176,396	496	226	139,794	620	130	36,602	-20.0
串間市東	498	234,965	472	313	212,771	680	185	22,194	-30.6
串間市	2,716	1,739,768	641	2,478	1,492,784	602	238	246,984	6.3
合計	18,017	7,656,204	425	16,269	6,461,833	397	1,748	1,194,371	7.0

端数処理の関係で、下一桁が合わない部分があります。

県一漁協合併に係る組合長会議の開催

宮崎県漁連（会長：是澤喜幸）は2026年4月28日に県一漁協合併にかかる標記会議を開催し下記の内容について報告、協議を行った。

記

会議名：組合長会議

日時：2026年4月28日（火） 漁連役員候補者推薦委員選出協議会終了後

場所：水産会館5階 大研修室

1. 報告事項

(1) 令和7年度宮崎県域組織再編事業報告について

2. 協議事項

(1) 今後の合併協議の進め方について

→事務局案にて承認

(2) その他

→今後のスケジュールについて事務局案にて承認



旬のさかな

春、2～3月頃になると黒潮に乗ってやってきたカツオが全国に先駆けて宮崎県で水揚げされるようになります。カツオは昔から貴重な水産資源として多くの家庭で食され「初鰹」や「戻り鰹」など季節により呼び名を変え親しまれてきました。地元では、主に、やわらかくもちっとした食感がとてもおいしい“刺身”や“たたき”をはじめ、様々な料理にして食べられ、タウリン、ビタミンA・D・B1・B2等が多く含まれているため、健康には欠かせません。

日南（にちなん）市は古くから飢肥杉（おびすぎ）や漁業を中心に栄え、中でもカツオは「近海カツオ一本釣り漁業日本一」を誇り、重要な主幹産業となっています。毎年2月から4月は屋久島・奄美大島近海で漁獲したカツオを大堂津（おおどうつ）港、目井津（めいつ）港、外浦（とのおうら）港などの母港に水揚げし、出荷しています。



軽油・灯油運搬容器のご紹介

今回、軽油・灯油運搬容器 mobiFITT をご紹介させていただきます。

当商品につきましては、190L・350L・430L・960Lの規格があり、天候や使用環境に応じた活用が期待されます。なお、各自治体によっては、一定の数量であれば石油取扱いに関する消防への届出又は、危険物取扱者の資格が不要となる場合がございます。燃料供給における、現場環境・労働環境の改善や緊急時などの燃料供給にも活躍することと考えております。

当運搬容器に関しまして、お問い合わせやご質問等がある場合は、お気軽に購買事業部までご連絡お願いいたします。

- 当運搬容器を使用するにあたり、危険物取扱者の規則・届出につきましては、各管轄消防署への確認が必要となります。
- 軽油・灯油タンクと記載しておりますが、A重油も対応可能です。

FMT Swiss AG ~ 日本の注油環境を変える ~

軽油・灯油運搬容器

危険物の規制に関する規則（第四類・危険等級Ⅲ）

国土交通省 新技術情報提供システム

NETIS 認定

燃料運搬容器「mobiFITT, mobiMASTER」
登録番号 QS-230032-A

特許第7156708・7424669号取得

New
mobiFITT350L
ラインフィルター付き

軽トラ
ジャストサイズ！

※容器は固定具で確実に固定します

UN
消防法適合容器

New ラインフィルター付き
mobiMASTER430L **mobiMASTER960L**

mobiFITT190L







容器の特長

- UN 認証容器 ■ 消防法適合の給油機能付き運搬容器
- カーボンブラックおよびUV耐性に優れた顔料を使用した低密度ポリエチレン製で十分なUV耐性を保持し、結露しにくい材質
- 危険物取扱資格や免許不要で使用可能 ■ オートストップガンを搭載。満タン時に燃料こぼれ無し

日本仕様版の改良装備を全機種に搭載！

※画像はイメージです。実際の製品とはデザイン・仕様が異なる場合があります。



蓋ダンパー



6m ホース標準化



深溝構造 暴風雨時の雨水侵入防止



フォークリフト爪ポケット



4点吊り

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 株式会社リタプラスはSDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け運搬容器事業を通じて社会の課題解決に取り組んでいます。詳しくは、本冊子2ページ目「運搬容器の使用で実現できるSDGsへの貢献とは」をご参照ください。

【お問い合わせ先】 JF 宮崎漁連購買事業部 ☎ (0985) 28-6111

2026 年度 JF グループ新人職員研修会

4月8日（水）～10日（金）にかけて、JF 全漁連主催による JF グループ新人職員研修会が WEB で開催され、本会より2名の職員が参加した。

JF グループとしての新人職員の心構えや必要な知識、技能の習得を図ることを目的に毎年開催されており、各研修内容ごとに、講師より説明が行われた。

詳細は以下の通り。

■研修内容

研修①「社会人になったら知っておきたいこと～就業規則・社会保険ほか～」

研修②「コンプライアンスの基本～日常・職場で気を付けること～」

研修③「JF グループとは」

研修④「協同組合とは、漁協（JF）とは」

研修⑤「ビジネス基礎研修」

研修⑥「沿岸漁業における「新たな資源管理」と「海洋環境変化」について」

研修⑦「浜の活力再生に向けた取組について」

研修⑧「水産物消費の現状とプライドフィッシュプロジェクト及び輸出拡大に向けた取組」

研修⑨「JF 共済事業とは」

研修⑩「漁業共済と積立ぷらす」

役員候補者推薦委員選出協議会

漁連は、本年度、任期満了に伴う役員改選に伴い、4月28日（火）に水産会館5階大研修室において役員候補者推薦委員選出協議会を開催した。

協議の結果、推薦委員が決定され、5月22日（金）開催の役員候補者推薦会議にて、役員候補者を推薦することとなった。

詳細は以下の通り。

■協議事項

（1）役員候補者推薦委員の選出について

環境 DNA を用いたビンナガ来遊予測技術の実践

— 経営流通部 —

はじめに

環境 DNA とは、環境（環境となる海水や底質など）に存在する生物由来の DNA のことで、これを分析することで、そこに存在する生物情報等を把握することができます。漁業調査船みやざき丸では、洋上での環境 DNA 分析が可能であり、この技術を活用したかつお・まぐろ漁業の漁場探索に取り組んでいます。

昨年の水産宮崎 790 号では、近海かつお一本釣漁業を対象とした環境 DNA によるビンナガの漁場来遊把握の技術開発について紹介しました。カツオと並び近海かつお一本釣漁業が主要な漁獲ターゲットとするビンナガの来遊を、環境 DNA で捉える手法を開発する取組になります（図 1：ビンナガ漁場来遊把握の調査イメージ）。今回はその後の実践として、ビンナガ回遊ルートの予測手段の構築や、令和 7 年度に漁業調査船みやざき丸で行った実際の調査について紹介させていただきます。

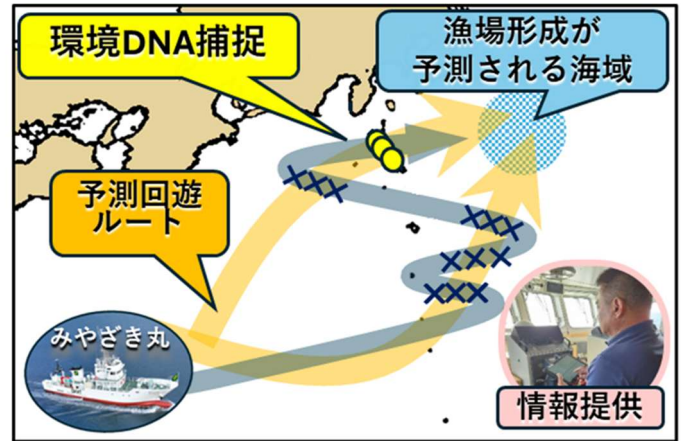


図 1 ビンナガ漁場来遊把握の調査イメージ

ビンナガの回遊ルート予測

上記のビンナガ漁場来遊把握の調査イメージを実行に移すために、まず必要となったのがビンナガの回遊ルートの予測になります。ビンナガは日本近海から遠くハワイ沖海域まで、太平洋を広く東西に回遊することが知られていますが、日本近海での詳細な回遊ルートは解っておりません。そこで、水温構造とまぐろはえ縄漁業の操業位置の 2 つのアプローチにより、回遊ルートを予測する方法を考えました。

(1) 水温構造による回遊ルート予測

水温構造により回遊ルート予測するためのヒントとなったのは、2023 年の近海かつお一本釣でのビンナガ操業で生じた特異的な漁場形成です。通常年ではビンナガの回遊により漁場は東西広範囲に広がりますが、このときの漁場範囲は非常に狭く集中していました。これは、ビンナガが同じ海域に留まっていたことを示しますが、その原因として、当時の漁場海域の水温構造が理由と考えられました。日本近海でビンナガが高い割合で生息する好適な水温は 18.5~19.5℃であることが知られていますが、漁場位置でこの好適水温帯が形成していた水深 100 m の水温図を見ると、好適水温の海域が巾着状に形成し、周囲を低い水温が取り囲んでいたことが、ビンナガが移動できなかった理由と考えられました。また、その後、期間の経過とともに、巾着状海域が開放するにつれて、漁場位置も外側に移っていく状況が確認されました（図 2）。これにより、特定水深の水温構造でビンナガの行動を説明することができることがわかり、言い換えれば、水温構造によりビンナガの回遊するルートを予測できる可能性が考えられました。

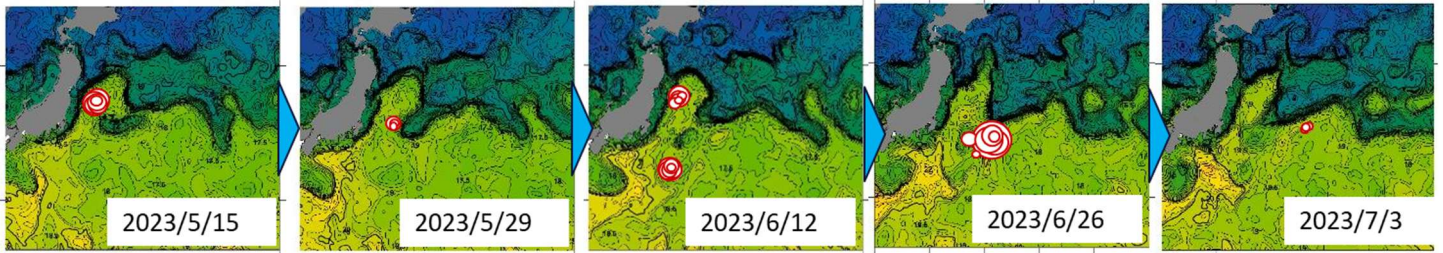


図2 水深100 mの水温構造と漁場位置の推移

(2) ビンナガ回遊位置のまぐろはえ縄漁業漁場位置からの推測

まぐろはえ縄漁業の漁獲データから予測する方法を考えました。ビンナガは1月頃より日本近海に現れますが、当初漁獲対象とするのはまぐろはえ縄漁業になります。そこで、まぐろはえ縄の漁獲位置より、ビンナガの行動予測を試みました。

1月上旬～4月上旬のまぐろはえ縄漁業の漁獲位置の分布状況を、1月から2月上旬までの前半と2月中旬から4月上旬の後半に分けると、前半は小笠原海嶺や九州パラオ海嶺縁辺の南北に分布が集中している状況が、後半は四国海盆を中心とした分布に変化する状況が確認され、それぞれを海嶺分布パターン及び海盆分布パターンと名づけました(図3)。さらに海盆分布パターンを10日ごとに分解すると、四国海盆全体に散在する状況が、徐々に黒潮海流沿いに集中する変化がみられました。これは、海域移動する前に群れを集約しながら移動ルートとなる海流上に集中している状況が想定されます。つまり、この時期の分布状況を端緒として、水深100 mの好適水温帯や海流上がその後の移動ルートとなり、ビンナガの回遊ルートを予測できる可能性が示唆されました。

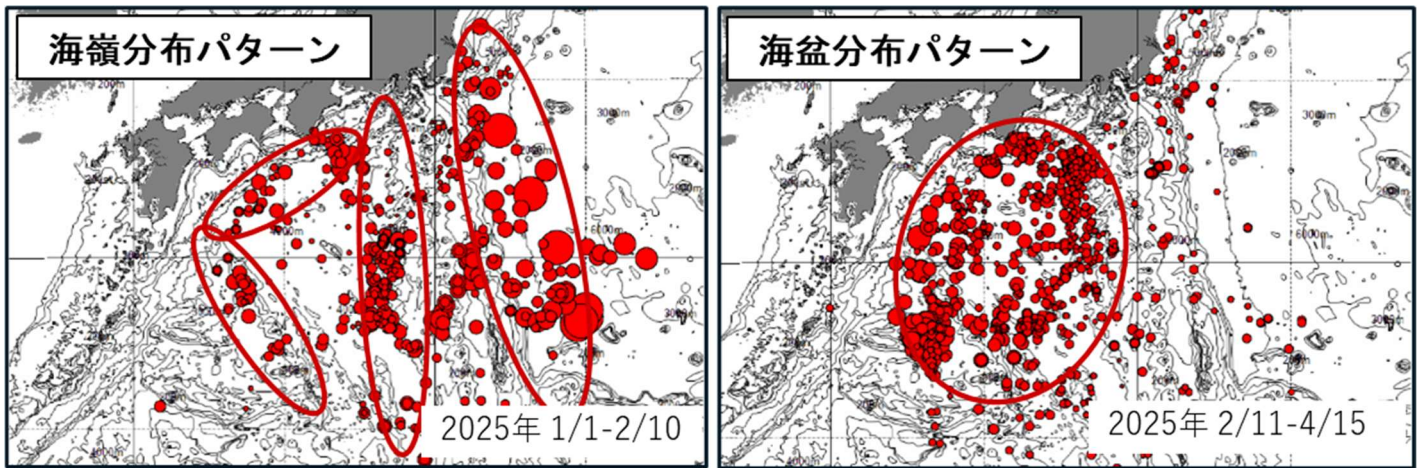


図3 水深100 mの水温構造と漁場位置の推移

環境DNAによるビンナガ来遊調査の実践

(1) 調査ラインの設定

これまでの予測の考え方を総合し、2025年に実際に行った回遊ルートの予測と、調査ラインの設定を説明します。予測したのは5月上旬頃、房総半島沖で散発的にカツオ混じりのビンナガが漁獲され、まさにビンナガの本格的な漁期が始まりそうな状況でした。付近の海域の水温状況から、主群がいるエリアを想定し、好適水温且つ海流沿いから回遊ルートを予測し、効果的に魚群が捕捉できる合流点付近に調査ラインを設定しました(図4)。

(2) 調査の結果と漁場形成

調査の結果、調査ラインよりビンナガ DNA を検出し、即日ビンナガの移動先の海域を予測して、関係漁船に情報提供しました。翌日からは予測した海域付近に好漁場が形成され、以降 1 週間だけでも、ビンナガが 814 t、3 億円を超える水揚げとなりました(図 4)。

ここまでの説明だと、我々の調査情報により豊漁に繋がった様に聞こえるかもしれませんが、実際の漁獲は、周辺海域での情報に反応した漁船が、調査と同日に好漁場を発見したことをきっかけに開始しており、我々の情報は参考程度の利用に留まったものと考えています。一方で、本調査で提示した想定海域は実際の好漁場と隣接した同じ潮上に位置しており、発生した時期も一致したことから、予測としてほぼ的中していたと考えています。つまり、調査手法の裏付けが得られる結果になったとともに、タイミング次第では非常に有益な情報にもなり得たと考えられます。さらに、これまでの漁場探索とは全く異なる方法を用いて、同様の結果にたどり着けたことにも、大きな将来性を見いだすことができました。

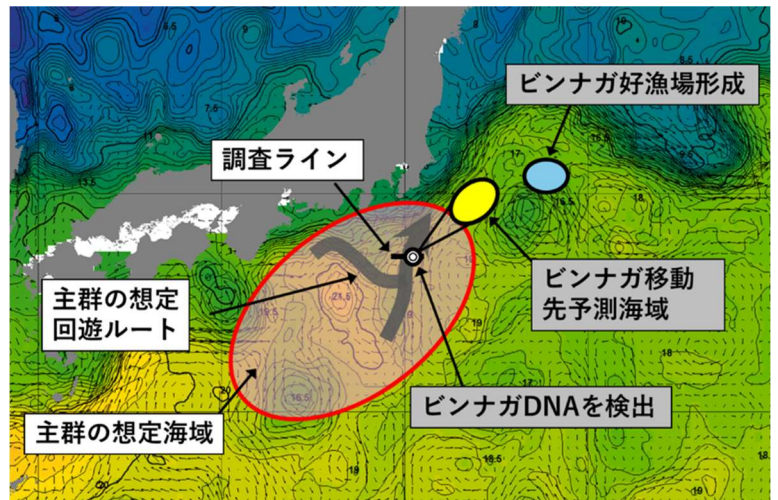


図 4 調査ラインの設定と結果及びその後の漁場形成位置

環境 DNA 調査の課題と展望

今回、環境 DNA による実践的な漁場調査としては初めての試みとなりましたが、ビンナガ DNA を捉えることに成功するとともに、実際の漁場形成による検証結果も得ることができました。残念ながら、直接的な操業への貢献には至りませんでした。今後、本調査の成果により、かつお一本釣船のスムーズな漁場転換が実現され、不要な探索経費の節減、ビンナガ漁獲機会の損失を防ぐことが可能になると考えています。さらに、その効果は、かつお一本釣漁業の効率的な経営を実現し、持続的な操業を構築できるものと考えています。

また、今回の手法は全国でもみやざき丸にしかできない、極めて先進的な調査手法と言えます。他の魚種や漁業種類への活用、或いは資源調査等への応用等、様々な発展性も考えることが可能です。調査のタイミングや精度、外洋域でターゲットとなる環境 DNA を検出する難しさ、また、調査結果に対する理解の醸成等、まだまだ課題は残されていますが、技術の向上や関係する方々への説明等により、貢献度の高い調査となるよう進めていきたいと考えています。

4月の動き（漁連関係）

1日、2日	決算監事会計検査
2日	宮崎県旋網漁業組合第2回役員会
8日	漁業用燃油等の安定的な確保を求める緊急漁業代表者会議
14日	県一漁協合併に係る組合長会議
14日	ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業 実務者説明会
28日	役員候補者推薦委員選出協議会